ISE SSH公開キーインポート失敗のトラブルシューティングエラー"Unable to update authorized key file"

内容

問題

Cisco ISEノードでSSH公開キー認証を設定しようとすると、SSHキーのインポートプロセスが次のエラーで失敗します。

```
Unable to update authorized key file
```

環境

- Cisco Identity Services Engine(ISE)バージョン3.1以降
- ISE SSHの公開キーと秘密キーが生成される

解決方法

警告:このプロセスを実行すると、ログインユーザの承認済みキーがすべて削除され、以降のキーベースのSSHログインが失敗します。キーペア認証を再度有効にするには、現在のセッションを閉じる前に、キーインポートプロセスを完了します。

---

1. 管理者権限を持つアカウントでISEノードCLIにログインします。

2. 次のコマンドを使用して、ISEノードから破損した、または問題のある既存の認証キーを削除します。

```
crypto key delete authorized_keys
```

3. 新しいSSH公開キーをインポートします。

```
crypto key import <public key file Name> repository <repository Name>
```

たとえば、

```
crypto key import mypubkey repository MyRepo
```

4. 次のコマンドを使用して、認証キーリストにキーが追加されたことを確認します。

```
show crypto authorized_keys
```

5. 秘密キーでマップされたSSHクライアントを使用してSSHアクセスを確認します。

原因

SSH公開キーのインポートの失敗は、ISEノードの認証キーが破損しているか、形式が正しくないことが原因で発生しました。「認証キーファイルを更新できません」エラーは、既存の認証キーファイルが矛盾した状態に達し、新しいキーのインポートができなくなったことを示しています。

関連コンテンツ

- ISEを使用した秘密キー認証の設定

- AzureにデプロイされたCisco ISEのISE SSHキーのリセット

翻訳について
シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。